

令和

5~7年度

共進化実現プログラム 最終成果報告会のお知らせ

1日目

2026年1月15日[木]

10:00~12:00 (オンライン開催)

2日目

2026年1月20日[火]

10:00~11:40 (オンライン開催)

※各15分発表・10分質疑応答

1日目：2026年1月15日[木] 10:00~12:00

10:00~10:05 開会挨拶・説明

根津 純也 文部科学省科学技術・学術政策局研究開発戦略課政策科学推進室 室長

10:05~10:30 我が国の宇宙活動の長期持続可能性を確保するための宇宙状況把握 (SSA) に係る政策研究

代表者：鈴木 一人 (東京大学 教授) & 研究開発局 宇宙開発利用課

10:30~10:55 研究支援の基盤構築 (研究機関・研究設備・人材等) のための調査・分析

代表者：隅藏 康一 (政策研究大学院大学 教授) & 研究振興局 大学研究基盤整備課、
科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課、人材政策課、参事官 (研究環境担当) 付

10:55~11:20 バイオエコノミーを目指したバイオものづくりの推進：政策課題の可視化と制度設計

代表者：松尾 真紀子 (東京大学 特任准教授) & 研究振興局 ライフサイエンス課、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、
経済産業省 商務・サービスグループ生物化学産業課

11:20~11:45 ミッション誘発型のSTI政策及び研究開発戦略の検討プロセスの客観的な手法開発

代表者：平川 秀幸 (大阪大学 教授)、木見田 康治 (東京大学 特任准教授) & 科学技術・学術政策局 研究開発戦略課、
研究開発戦略課 戦略研究推進室

11:45~12:00 SciREXアドバイザー委員による総評

2日目：2026年1月20日[火] 10:00~11:40

10:00~10:05 開会挨拶・説明

根津 純也 文部科学省科学技術・学術政策局研究開発戦略課政策科学推進室 室長

10:05~10:30 我が国の人文・社会科学の国際的な研究成果に関するモニタリング指標の調査分析

代表者：軽部 大 (一橋大学 教授) & 研究振興局 振興企画課 学術企画室

10:30~10:55 安定性と流動性を両立したキャリアパスの仕組みについての定量・定性的研究

代表者：安田 聡子 (九州大学 教授)、宮川剛 (藤田医科大学 教授) & 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室

10:55~11:20 科学技術政策における博士号を保有する人材活用に関する調査研究

代表者：祐野 恵 (京都大学 特定准教授) & 大臣官房人事課

11:20~11:40 SciREXアドバイザー委員による総評・閉会

参加を希望される方は、以下のリンクより登録をお願いします。

令和8年1月13日(火) 12時まで

<https://forms.office.com/r/QxMuYKu5XN>

接続方法等の詳細はご登録のメールアドレスへ成果報告会当日までに連絡します。



SciREX Center 文部科学省

問い合わせ

文部科学省 研究開発戦略課政策科学推進室：kagkeik@mext.go.jp
政策研究大学院大学 SciREXセンター：scirex-ev-ml@grips.ac.jp

SciREX

サイレックス事業

本事業は、以下の取組などを通して、エビデンスに基づく科学技術・イノベーション政策の推進に寄与することを目的としています。

- ① 科学技術・イノベーション政策に関する実務・研究に携わる人材の育成
- ② 政策形成に資する研究の推進
- ③ 研究コミュニティの形成

SciREX

サイレックス事業

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業

SciREX (サイレックス) 事業とは

SciREXとは「Science for RE-designing Science Technology and Innovation Policy」を意味しており、①科学技術・イノベーション政策についての実務や研究に携わる人材の育成、②科学技術・イノベーション政策形成に生きる研究の推進、③研究コミュニティの形成などの①～③を通して、科学的根拠に基づく科学技術イノベーション政策の拡大を目的とした事業です。

科学の政策？ 政策を科学しよう！

事業のしくみ

人をそだてる



「政策のための科学」を広げるためには、将来の担い手を育成することが大切です。

SciREX事業では、**6つの大学が5つの拠点**を形成し、サマーキャンプやシンポジウムの開催などを通してそれぞれが協力しながら、世界に比肩する、大学院における**人材育成プログラムを提供**しています。

一緒にかんがえる (研究者×行政官)



政策に生きる研究の実現や、EBPM※の展開には、共に進化するという意味で、研究者・行政官双方の「共進化」が不可欠です。

SciREX事業では、**研究者と行政官が課題設定の段階から協働**し、政策への活用までを目指す**共進化実現プロジェクト**を推進しています。

関係者をつなぐ (ネットワーキング)



事業の成果を現場に届けるためには、関係者同士の継続的な連携が重要です。

SciREX事業では、**アウトリーチ活動を積極的に実施**するとともに、**ワークショップやセミナー、シンポジウム**などを通して、科学技術・イノベーション政策に関する政策科学の**学術コミュニティを構築し、人と人とのつながりを広げています**。

※EBPM…エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング

現在地

SciREX事業開始
(平成23年)

拠点活動
第3期開始
(令和3年)

令和5年

事業終了
(令和7年度末)

共進化第Ⅰフェーズ

共進化第Ⅱフェーズ

共進化第Ⅲフェーズ

詳しい情報は**SciREX事業ポータルサイト**へ！ ▶ <https://scirex.grips.ac.jp/>

